

ウインブライト Win Bright

2014年生 日本産 芦毛

初年度産駒から皐月賞出走馬を送り出す
香港国際G1レース2勝のステイゴールド後継種牡馬



競走成績 Race Record

2016年～2020年
24戦9勝
総獲得賞金299,523,000円(国内) HK \$35,800,000

2019年 JRA賞最優秀4歳以上牡馬

- 優勝 香港カップ-G1(芝2000m)
Hong Kong Cup-G1(Turf)
- 優勝 香港クイーンエリザベス二世C-G1(芝2000m)
Queen Elizabeth II Cup-G1(Turf)
- 優勝 中山記念-G2(芝1800m)2回
Nakayama Kinen-G2(Turf) twice
- 優勝 スプリングS-G2(芝1800m)
Spring S-G2(Turf)
- 優勝 中山金杯-G3(芝2000m)
Nakayama Kimpai-G3(Turf)
- 優勝 福島記念-G3(芝2000m)
Fukushima Kinen-G3(Turf)
- 優勝 若竹賞(芝1800m)
Wakatake Sho(Turf)
- 2着 香港カップ-G1(芝2000m)
- 2着 中山金杯-G3(芝2000m)



© Photostud

本馬がクイーンエリザベス二世カップでマークした1分58秒81の勝ち時計は、まだ破られぬレコードタイム。同一年の香港カップも危なげない競馬で制し、海外G1・2勝目。そのほか国内でも3歳から5歳まで毎年重賞を勝っており、さらに6歳暮れには再び香港に渡って香港カップを2着に好走。国内外の芝1800～2000mで重賞7勝を積み上げ、スピードと操縦性、勝負根性、そして成長力を存分に示した現役生活を送った。本馬はステイゴールド産駒のなかでも海外競馬での実績は群を抜いており、その能力と成長力はステイゴールドの優良後継種牡馬としての期待を抱かせるに十分な資質と言える。

血統表 Pedigree Table

父系 | Sire Line

父：ステイゴールドは日本産。香港ヴァーズ-G1, ドバイシーマクラシック-G2, 目黒記念-JPN2, 日経新春杯-JPN2, 天皇賞・秋-JPN1 2着・2回, 天皇賞・春-JPN1 2着など50戦7勝。

<代表産駒>

オルフェヴル(年度代表馬, ダービー-G1, 有馬記念-G1・2回, 皐月賞-G1, 菊花賞-G1, 宝塚記念-G1, 凱旋門賞-G1 2着・2回), ゴールドシップ(最優秀3歳牡馬, 有馬記念-G1, 皐月賞-G1, 菊花賞-G1, 天皇賞・春-G1, 宝塚記念-G1・2回), ドリームジャーニー(最優秀2歳牡馬, 最優秀古牡馬, 有馬記念-G1, 宝塚記念-G1), インディチャンプ(最優秀短距離馬, 安田記念-G1, マイルチャンピオンシップ-G1), フェノーメノ(天皇賞・春-G1・2回), ナカヤマフェスタ(最優秀古牡馬, 宝塚記念-G1, 凱旋門賞-G1 2着), レインボーライン(天皇賞・春-G1), レッドリヴェール(最優秀2歳牡馬, 阪神ジュベナイルフィリーズ-G1), アドマイヤリード(ヴィクトリアマイル-G1), オジュウチョウサン(最優秀障害馬・5回)など多数。

ステイゴールド Stay Gold 黒鹿毛 1994	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo	Hail to Reason	Turn-to Nothirdchance Cosmic Bomb Almahmoud Promised Land Pretty Ways Montparnasse Edelweiss Fine Top Sanetia Worden Dulzetta
	ゴールデンサッシュ Golden Sash	*ディクタス	Understanding Mountain Flower Sanctus Doronic	Northern Dancer Lady Victoria Princely Gift Sash of Honour *フォルティノ Chambord Prince John Wildwood
	アドマイヤコジーン Admire Cozzene	Cozzene	*ローザンテースト *ロイヤルサッシュ	Northern Dancer Lady Victoria *トライバルチーフ Hanina Raise a Native Gold Digger
	アドマイヤマカティ	*ミセスマカティ	Mr. Prospector Number	Nijinsky Special Nijinsky *シル *ノロノウエー *ミスゼン
サマーエタニティ Summer Eternity 芦毛 2005	オールフォーゲラン All for Guelain	*ジェイドロバリー	マルゼンスキー ゲラン	
	ミスゲラン			

種牡馬成績 Stud Record

種牡馬成績 Stud Record

2021年より我国で供用開始
<主な産駒>
フクノブルーレイク(スプリングS-G2 2着)
バセリーナ(中央・2勝, クローバー賞-OP 3着)
サンカシグレ(中央・2勝)
マイネルフルムーン(中央・2勝)
パンブルビー(中央・2勝)
ウインベラーノ(中央・1勝)
コルテオソレイユ(中央・1勝)
ドーバーブライト(中央・1勝)
キングストゥール(中央・1勝)
ローレルオーブ(中央・1勝)
ユメシルベ(中央・1勝)
ロードスカイブルー(中央・1勝)
ウインマスカレード(中央・1勝)
テーオーミリック(中央・1勝)
コックオーヴァン(中央・1勝)
シュードタキライト(中央・1勝)
ウインスティীগ(中央・1勝)
ハッピーラッキー(中央・1勝)
ホウオウヘッセン(中央・1勝)

母系 Family

母 サマーエタニティは3勝。産駒
ウインファビラス(13牝 芦 ステイゴールド)2勝, 常総S, 阪神JF-G1 2着, 新潟2歳S-G3 2着,
| ニューイヤーS-L3着, アルテミスS-G3 5着, ターコイズS-L5着
ウインブライト:本馬
ウインエクレール(19牝 鹿 ディープインパクト)2勝, スイートピーS-L
祖母 オールフォーゲランは1勝。産駒
マイネシャリマー(牝 *ムタファウエウ)1勝, いちょうS-L3着, 芙蓉S-OP 3着。産駒
| マイネボニータ:2勝, 高知(公)1勝
| マイネディール(牝 アドマイヤマックス)2勝, 鞍ヶ池特別
曾祖母 ミスゲランは1勝。産駒
ヤマフリアル:2勝, エリザベス女王杯-JPN1 2着, チューリップ賞-OP 2着, 桜花賞-JPN1
| 4着, ローズS-JPN2 4着。産駒
ナリタショウウン:3勝, 苫小牧特別
モガミゲラン:不出走。産駒
メガミゲラン:7勝, アンドロメダS-OP, 北九州短距離S-OP, パールS, 桶狭間S, 赤穂特別,
えのき賞, 北九州記念-JPN3 3着, CBC賞-JPN2 5着。産駒
チリエージュ:5勝, 別府特別, 久多特別, 鳥羽特別, セントウルS-JPN3 5着。ハクス
ンムーン(セントウルS-G2, 京阪杯-G3, アイビスサマーダッシュ-G3, スプリン
ターズS-G1 2着, 高松宮記念-G1 2着), サトノレーヴ(高松宮記念-G1, 函館ス
プリントS-G3, キーンランドC-G3, チェアマズスプリントプライズ-G1 2着, ク
イーンエリザベス二世ジュビリーS-G1 2着, 香港スプリント-G1 3着), ウォーリ
ングステイツ Warring States(バヴァーリアンクラシック-G3)の母
シャルルゲラン:5勝, 伊勢特別
クリノダイコクテン:1勝, 高知◎1勝, 障2勝, 牛若丸JS, 阪神スプリングJ-JG2 5着
アンビジャス:4勝, 知多特別, 春日特別
四代母 ゲランは2勝, 篠山特別。産駒
シルクスキー:最優秀2歳牝馬, 6勝, 京都大賞典, 4歳牝馬特別(東), 阪神牝馬特別
スイートゲラン:4勝, 山陽特別。ラッキーゲラン(阪神3歳S-JPN1)の祖母

ゴールドシップ Gold Ship

2009年生 日本産 芦毛

メイショウタバルが宝塚記念を3馬身差の圧勝!
産駒は芝中長距離で圧倒的な成績を残す



競走成績 Race Record

2011~2015年
28戦13勝 総獲得賞金1,397,767,000円

2012年 JRA賞最優秀3歳牡馬

- 優勝 有馬記念-G1(芝2500m)
Arima Kinen(The Grand Prix)-G1(Turf)
- 優勝 皐月賞-G1(芝2000m)
Satsuki Sho(Japanese 2000 Guineas)-G1(Turf)
- 優勝 菊花賞-G1(芝3000m)
Kikuka Sho (Japanese St.Leger)-G1(Turf)
- 優勝 天皇賞・春-G1(芝3200m)
Tenno Sho(Spring)-G1(Turf)
- 優勝 宝塚記念-G1(芝2200m)2回
Takarazuka Kinen-G1(Turf) twice
- 優勝 阪神大賞典-G2(芝3000m)3回
Hanshin Daishoten-G2(Turf) 3 times
- 優勝 神戸新聞杯-G2(芝2400m)
Kobe Shimbun Hai-G2(Turf)
- 優勝 共同通信杯-G3(芝1800m)
Kyodo News Service Hai-G3(Turf)
- 2着 札幌記念-G2(芝2000m)
- 2着 ラジオNIKKEI杯2歳S-G3(芝2000m)
- 2着 札幌2歳S-G3(芝1800m)



代表産駒 ユーバーレーベン(2021年 オークス優勝)
ゴールドシップの2年目の産駒として生まれたユーバーレーベンは東京芝1800mの新馬を快勝すると、暮れには2歳女王決定戦・阪神JFに出走。上がり最速となる33.6秒の末脚をマークして3着に好走。その鋭い決め手は世代No.1牝馬を決めるオークスでも遺憾なく発揮され、後方から徐々にポジションを上げる競馬で、ゴールドシップ産駒らしい息の長い末脚を披露。上がり34.4秒の末脚でNo.1牝馬の座を手にした。その後もバイシマクラシック5着など、国内外の重賞戦線で活躍を続け、5歳、AJCCの3着まで、新馬戦以外はすべて重賞という高レベルのレースを走り続けた。

血統表 Pedigree Table

父系 | Sire Line

父: スティゴールドは日本産。香港ヴァーズ-G1, ドバイシーマクラシック-G2, 目黒記念-JPN2, 日経新春杯-JPN2, 天皇賞・秋-JPN1 2着・2回, 天皇賞・春-JPN1 2着など50戦7勝。

<代表産駒>

オルフェーヴル(年度代表馬, ダービー-G1, 有馬記念-G1・2回, 皐月賞-G1, 菊花賞-G1, 宝塚記念-G1, 凱旋門賞-G1 2着・2回), ドリームジャーニー(最優秀2歳牡馬, 最優秀古牡馬, 有馬記念-G1, 宝塚記念-G1), ウインブライト(最優秀古牡馬, 香港カップ-G1, 香港クイーンエリザベス二世C-G1), インディチャンプ(最優秀短距離馬, 安田記念-G1, マイルチャンピオンシップ-G1), フェノーメノ(天皇賞・春-G1・2回), ナカヤマフェスタ(最優秀古牡馬, 宝塚記念-G1, 凱旋門賞-G1 2着), レインボーライン(天皇賞・春-G1), レッドリヴェール(最優秀2歳牝馬, 阪神ジュベナイルフィリーズ-G1), アドマイヤリード(ヴィクトリアマイル-G1), オジュウチョウサン(最優秀障害馬・5回, 中山大障害-JG1・3回, 中山グランドジャンプ-JG1・3回)など多数。

スティゴールド Stay Gold 黒鹿毛 1994	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo	Hail to Reason	Turn-to Nothridchance Cosmic Bomb Almahmoud Promised Land Pretty Ways Montparnasse Edelweiss Fine Top Sanelta Worden Dulzetta
	ゴールデンサッシュ Golden Sash	*ディクタス	Understanding Mountain Flower Sanctus Doronic	Northern Dancer Lady Victoria Princely Gift Sash of Honour バーンロン スキート スノッフ Chanel
ポイントフラッグ Point Flag 芦毛 1998	メジロマックイーン Mejiro McQueen	メジロティターン	*ノーザンテースト *ロイヤルサッシュ	Alcide Admonish ヒンドスタン アサムリ Northern Dancer
	メジロオーロラ	メジロアイリス	*リマンド	Fleur Roberto Cambrienne Princely Gift Mwanza
	パストラリズム Pastoralism	*ブルリズム	The Minstrel Cambretta	*ラクスマー 風鈴
		トクノエイティ	*トライバルチーフ アイアンルビー	

種牡馬成績 Stud Record

種牡馬成績 Stud Record

2016年より我国で供用開始

<主な産駒>

ユーバーレーベン(オークス-G1, 札幌2歳S-G3 2着, 阪神JF-G1 3着, AJCC-G2 3着)
メイショウタバル(宝塚記念-G1, 神戸新聞杯-G2, 毎日杯-G3)
マイネルグロン(2023年最優秀障害馬, 中山大障害-J-G1, 東京ハイジャンプ-J-G2, 阪神スプリングJ-J-G2, 清秋ジャンプS-OP2着, 障害OP2勝)
ウインキートス(目黒記念-G2 21年1着・22年3着, 湾岸S, 土湯温泉特別, ルスツ特別, オールカマー-G2 21年2着・22年3着)
マイネルエンペラー(日経賞-G2, オリオンS, 日経新春杯-G2 3着, 天皇賞・春-G1 5着)
ゴールデンハインド(フローラS-G2, 芙蓉S-OP2着)
ウインマイティ(マーメイドS-G3 22年1着・23年2着, 忘れな草賞-L, オークス-G1 3着, 京都大賞典-G2 3着)
ブラックホール(札幌2歳S-G3, 弥生賞ディープインパクト記念-G2 4着, 菊花賞-G1 5着)
コガネノソラ(クイーンS-G3, スイートピーS-L)
フェアエール(小倉牝馬S-G3, 福島記念-G3 2着, 福島牝馬S-G3 2着, クイーンS-G3 3着)
マイネルカンパナ(早春S, ステイヤーズS-G2 2着)
マイネルモント(江ノ島S, 中山金杯-G3 2着)
メイショウブレグ(万葉S-OP, 京都大賞典-G2 3着)
アドミラルシップ(ホープフルS-G1 4着)
ウインピクシス(壇ノ浦S, クイーンS-G3 2着)
プリムドール(古都S, ステイヤーズS-G2 2着)

母系 Family

母 ポイントフラッグは1勝, チューリップ賞-JPN3 2着, 紅梅S-OP2着, エルフィンS-OP2着, フローラS-JPN2 5着。産駒
ミラクルフラッグ(07牝 栗 スパイクール)1勝。産駒
ダイメイコリダ: 2勝, 鳳雛S-L 2着, ジャパンダートダービー-JPN1 2着, 道営4勝
シスターフラッグ: 2勝, 札幌2歳S-G3 4着, 京都2歳S-G3 5着

ゴールドシップ: 本馬
トレジャーマップ(11牝 鹿 スティゴールド)4勝, 本栖湖特別, 瓢湖特別
ゴールドフラッグ(15牝 黒鹿 スティゴールド)3勝, フルーツラインC, 臥牛山特別

祖母 パストラリズムは2勝
曾祖母 トクノエイティは2勝, 寒菊賞。産駒
スーパータマモ: 4勝, 蓮葉峡特別, サファイヤS-JPN3 3着, ローズS-JPN2 5着
アイネスガンマ: 4勝, 金北山特別(2回), 粟島特別, 京成杯-JPN3 4着
ダイヤモンドレイ: 1勝。産駒
キオスマート: 5勝, 大雪H, 勝浦特別, 中山ヤングジョッキーズS, 道新杯-OP2着, 函館記念-JPN3 4着, 障1勝
マイダイヤモンド: 4勝, 鈴鹿特別

四代母 アイアンルビーは不出走。産駒
ダンツルビー: 1勝
五代母 風鈴は不出走。産駒
スイートフラッグ: 7勝, 京王杯オータムH, オールカマー, 牝馬東京タイムズ杯, 金杯(東), むらさき賞, 晩春S, 桜花賞2着, カブトヤマ記念2着, オークス3着。産駒
チャーチルシンボリ: 障2勝, 中山大障害3着
シャードシンボリ: 3勝, 府中3歳S, 黄菊賞
スイートカシオベヤ: 3戦。マイティスプリング(ギャラクシーS-L)の祖母
トウザン: 3勝, 寒菊賞, 函館3歳S3着。種牡馬
カズマサオー: 4勝, 陣馬特別。種牡馬
サリュウホマレ: 4勝, 鹿島特別, 五稜郭特別, 桜草特別, セントライト記念4着
ヤサカニシキ: 3勝。カネトシガバナー(神戸新聞杯-JPN2)の曾祖母

ジョーカプチーノ Jo Cappuccino

2006年生 日本産 芦毛

スピード能力の高い産駒を送り続ける
 昨年も新馬、ダリア賞と連勝のハッピーエンジェルなどが活躍



© Keibabook

競走成績 Race Record

2008~2012年
 23戦6勝 総獲得賞金302,201,000円

- 優勝** NHKマイルC-G1(芝1600m)
 NHK Mile Cup-G1 (Turf)
- 優勝** シルクロードS-G3(芝1200m)
 Silk Road S-G3 (Turf)
- 優勝** ファルコンS-G3(芝1200m)
 Falcon S-G3 (Turf)
- 2着** スワンS-G2(芝1400m)
- 3着** 京王杯スプリングC-G2(芝1400m)
- 3着** スワンS-G2(芝1400m)
- 3着** ニューゼalandT-G2(芝1600m)

代表産駒 サンデイビス(2024年 京都ハイジャンプ優勝)
 サンデイビスは平地の特別戦で1勝を挙げ、2023年、5歳時に障害へ転向。2戦目の未勝利戦で障害レースの初勝利を挙げると、障害OPで経験を積み、2024年2月にOPを勝利。その勢いを駆って、続くペガサスジャンプ・OPも3着に好走し、迎えたのは京都ハイジャンプ・J・G2。レース序盤は落ち着いて後方を進み、中盤から徐々に前に進出。逃げるザメイダンを射程圏に捉えると、直線入り口手前で先頭に。直線は後続との差を広げる一方で、結果、2着馬に5馬身差をつける圧勝で重賞初勝利を飾った。

血統表 Pedigree Table

父系 | Sire Line
 父：マンハッタンカフェは日本産。最優秀4歳以上牡馬、有馬記念-JPN1, 菊花賞-JPN1, 天皇賞・春-JPN1など12戦6勝。総合チャンピオンサイアー。
 <代表産駒>
 ヒルノダムール(天皇賞・春-G1, 皐月賞-G12着), レッドディザイア(秋華賞-G1, マクトゥームチャレンジラウンド3-G2, オークス-JPN12着, 桜花賞-JPN12着), クイーンズリング(エリザベス女王杯-G1, 有馬記念-G12着, 秋華賞-G12着), グレープブランデー(フェブラリーS-G1, ジャパンダートダービー-JPN1), ショウナンマイティ(大阪杯-G2, 安田記念-G12着), ルージュバック(毎日王冠-G2, オークス-G12着), プラチナムパレット(京都新聞杯-G2), シャケトラ(阪神大賞典-G2), エーシンモアオーバー(名古屋グランプリ-JPN2・2回), メイショウテツコン(日経賞-G2), シングウィズジョイ(フローラS-G2, エリザベス女王杯-G12着)など多数。

マンハッタンカフェ Manhattan Cafe 青鹿毛 1998	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo	Hail to Reason	Turn-to Nothridchance Cosmic Bomb Almahmoud Promised Land Pretty Ways Montparnasse Edelweiss Hoist the Flag Princess Post Boldnesian Ran-Tan Henry the Seventh Light Arctic
	*サトルチェンジ Subtle Change	Wishing Well	Cosmah	Ticino Schwarzblaurot Northern Dancer Flaming Page Round Table Regal Gleam
	フサイチコンコルド Fusaichi Concorde	Law Society	Understanding Mountain Flower	Northern Dancer Fairy Bridge *イングリッシュユプリンス Sunny Valley Princely Gift Suncourt Your Host Wisteria Grey Sovereign Ranavalo
	ジョーブシケ Jo Psykhe 芦毛 2000	Santa Luciana	Alleged Bold Bikini	*ゲイタイム *スピンドル
	*バレークイーン	Luciano	Suleika	
	ジョーユーチャリス Jo Eucharis	Caerleon	Nijinsky Foreseer	
		*トウショウボーイ	Sadler's Wells Sun Princess	
		ジョーバブーン	*テスコボーイ *ソシアルバターフライ *フォルティノ ハードゲイ	

種牡馬成績 Stud Record

種牡馬成績 Stud Record
 2013年より我国で供用開始
 <主な産駒>
 ジョーストリクトリ(ニューゼalandT-G2, 東風S-L, なずな賞, アーリントンC-G35着)
 サンデイビス(京都ハイジャンプ-J-G2, 障害OP, 二本松特別, ペガサスジャンプS-OP3着)
 ナムラリコリス(函館2歳S-G3)
 キタノリュウオー(師走S-L, 内房S, ポルックスS-OP2着, 太秦S-OP3着)
 キタノズエッジ(すばるS-L)
 シナモンスティック(UHB賞-OP, ストークS, 郡山特別, キーンランドC-G32着, しらかばS-OP2着)
 ジョーマンデリン(UHB杯, 道新スポーツ杯, 函館スプリントS-G33着, ルミエールAD-L5着)
 ジョーアラビカ(道頓堀S, 木更津特別, 唐戸特別, 京阪杯-G33着, タンザナイトS-OP 2着)
 マイネルバルマン(クリスマスローズS-OP, 端午S-OP, 福島2歳S-OP2着, ダリア賞-OP2着)
 コスモイグローク(すずらん賞-OP)
 ハッピーエンジェル(ダリア賞-OP, アルテミスS-G34着)
 ビーマイベイビー(福島2歳S-OP3着)
 エティエンヌ(初風S, カペラS-G35着)
 ネクストストーリー(潮騒特別, フェアリーS-G35着)
 サクセスエース(障害OP, 東京ジャンプS-J-G35着)
 ホウオウバリス(中央・3勝)
 ヤサシサ(中央・3勝)
 ハートホイップ(オールスターJ第1戦, 岩手2勝)
 ジョーロノ(南関東・平和賞2着, 南関東・ニューイヤーズC2着, 兵庫ジュニアグランプリ-Jpn25着)

母系 Family

母系 Family
 母 ジョーブシケは1勝。産駒
 ジョーカプチーノ:本馬
 ジョーブライド(07 牡 栗 *アルカセット)2勝
 ジョーアポロン(08 牡 芦 ネオユニヴァース)1勝
 ジョーカトゥーラ(14 牡 黒鹿 マンハッタンカフェ)東海◎1勝, 南関東(公)4勝
 祖母 ジョーユーチャリスは1勝。産駒
 ジョーリュウオー(牡 *グルームダンサー)3勝, 金山特別
 曾祖母 ジョーバブーンは7勝, 仁川S, 平安S, 比較S, 信貴山特別, 千里山特別, 春日特別, 京阪杯2着, 阪神牝馬特別3着。産駒
 ジョーポーラスター:1勝
 四代母 ハードゲイは1戦。産駒
 ナスティターン:北関東(公)7勝, しもつけ菊花賞, とちぎダービー3着, 足利記念3着, しもつけさつき賞3着, 織姫賞3着, 尊氏賞3着, ばん阿賞3着
 ジョーオースチン:5勝, 有田特別
 五代母 *スピンドル Spindle は愛国産, 英6戦。産駒
 ブロンドケリー:1勝。産駒
 ジョーババーヌ:3勝, 噴火湾特別
 六代母 ノコミス Nokomis は英1戦。産駒
 インディアンコンクエスト Indian Conquest:英愛4勝, アングルシーS, レイルウェイS2着, ジャージーS2着, CROCKER BULTEEL C3着。種牡馬
 プリンスタメラリヌ Prince Tamerline:北米2勝, 愛入着, テトラークS4着
 ムーンドーター Moon Daughter:英1勝。産駒
 カスプ Cusp:愛入着, Testimonial S-L2着
 フリーティングインタレスト Fleeting Interest:英5勝。産駒
 レイディラウンデス Lady Lowndes:英3勝, Zetland Gold Cup-L, Bessborough H-L 2着
 コッパーズエヴィデンス Copper's Evidence:英5勝, Great Yorkshire H

ダノンザキッド Danon the Kid

2018年生 日本産 鹿毛

デビューから3連勝でホープフルSを勝利。JRA賞最優秀2歳牡馬に選出!
2歳から5歳まで国内外のG1で好走し続けたハーツクライ系種牡馬



競走成績 Race Record

2020年～2023年
19戦3勝
総獲得賞金336,615,000円(国内) HK \$8,305,000

2020年 JRA賞最優秀2歳牡馬

- 優勝 ホープフルS-G1(芝2000m)
Hopeful S-G1(Turf)
- 優勝 東京スポーツ杯2歳S-G3(芝1800m)
Tokyo Sports Press Hai Nisai S-G3(Turf)
- 2着 香港カップ-G1(芝2000m)
- 2着 マイルチャンピオンシップ-G1(芝1600m)
- 3着 大阪杯-G1(芝2000m)
- 3着 マイルチャンピオンシップ-G1(芝1600m)
- 3着 毎日王冠-G2(芝1800m)
- 3着 弥生賞ディープインパクト記念-G2(芝2000m)
- 3着 関屋記念-G3(芝1600m)



© Keibabook

新馬、東スポ杯2歳S-G3と連勝して臨んだホープフルS-G1。10番枠から好スタートを決めると前にタイトルホルダー(菊花賞、天皇賞・春、宝塚記念)、内にオーソクレース(菊花賞2着)を見る好位の外を追走。向正面では外から被される場面もあったが、折り合いを欠くこともなくスムーズにレースを進め、3コーナー過ぎから前を捉えにかかると直線入口でタイトルホルダーを外から競り落とすと、そのまま馬場の真ん中を真一文字に伸びて、内のオーソクレースをかわしてゴール。見事に1番人気に応じてみせた。勝ち時計は2分2秒8。終始外を回りながらも、2着オーソクレースに1馬身4分の1差をつける完勝だった。

血統表 Pedigree Table

父系 | Sire Line

父: ジャスタウェイは日本産。ドバイデューティフリー-G1, 天皇賞・秋-G1, 安田記念-G1, 中山記念-G2, アーリントンカップ-G3, ジャパンカップ-G22着, 毎日王冠-G22着・2回など22戦6勝。

<代表産駒>

テオレーマ(JBCレディスクラシック-JPN1, TCK女王盃競走-JPN3, マリーンC-JPN3, レディスプレリュード-JPN22着), アドマイヤジャスタ(函館記念-G3, ホープフルS-G12着, すみれS-L2着), ミステリーウェイ(アルゼンチン共和国杯-G2, 丹頂S-OP, 御堂筋S, 札幌日刊スポーツ杯), ロードマイウェイ(チャレンジカップ-G3, ポートアイランドS-L, キャピタルS-L2着), マスターフェンサー(名古屋グランプリ-JPN2, マーキュリーカップ-JPN3・2回, 白山大賞典-JPN3, ケンタッキーダービー-G16着, ベルモントS-G15着), ヴェロックス(若駒S-L, 若葉S-L, 皐月賞-G12着, ダービー-G13着, 菊花賞-G13着, 神戸新聞杯-G22着), ルージュエヴァイユ(エリザベス女王杯-G12着, 府中牝馬S-G22着, エアノムカップ-G32着)など多数。

ジャスタウェイ Just a Way 鹿毛 2009	ハーツクライ Heart's Cry	*サンデーサイレンス	Halo	Hail to Reason Cosmah Understanding Mountain Flower
	シビル Sibyl	アイリッシュダンス	*トニービン	*カンバラ Severn Bridge Lyphard My Bupers
エピックラヴ Epic Love 鹿毛 2008	ダンシリ Dansili	Wild Again	*ビューパーダンス	Nearctic Shenanigans Khaled Dama Hard Work With Exception
	レパードハント Leopard Hunt	*シャロン	Icecapade	Sir Wiggle Blue Double Northern Dancer Pas de Nom His Majesty Spring Adieu イルドフルボン Kadisyra High Line Sookera *エタン Rocchetta Reliance Soft Angels Lyphard Lady Rebecca Darius Desca
		*デインヒル	Bushel-n-Peck	
		Hasili	Mo Exception	
		Diesis	Double Wiggle	
		Alcando	Danzig	
			Razyana	
			Kahyasi	
			Kerali	
			Sharpen Up	
			Doubly Sure	
			Alzao	
			Kaniz	

種牡馬成績 Stud Record

種牡馬成績 Stud Record

2024年より我国で供用開始
2024年は74頭に種付け
2025年は64頭に種付け

母系 Family

- 母 *エピックラヴ Epic Loveは仏2勝。ヴァントー賞-G3, サンタリ賞-G12着。産駒
ミッキープリランテ(16 牡 鹿 ディーププリランテ)5勝, ニューイヤーS-L, 阪急杯-G32着,
京成杯オータムH-G32着, シンザン記念-G33着, 函館スプリントS-G33着
オールザワールド(17 牡 鹿 キズナ)3勝, 障害3勝, 東京ハイジャンプ-J-G23着
ダノンザキッド: 本馬
クリスピノ(19 牡 鹿 ドウラメンテ)大井(公)6勝
ダノンタッチダウン(20 騾 鹿 ロードカナロア)1勝, 朝日杯FS-G12着, デイリー杯2歳S-G2
2着, NHKマイルC-G14着
マリーマカロン(21 牝 栗 レイデオロ)中央1勝
ラヴァブル(22 牝 栗 ジャスタウェイ)中央2勝
- 祖母 レオパードハント Leopard Huntは北米1勝, 英1勝, STAR S-L3着。産駒
スウィフトアンドシュア Swift And Sure(牝 Exceed And Excel)英1勝
*サウンドデューク(騾 Duke of Marmalade)3勝
- 曾祖母 アルカンド Alcandoは米英愛仏8勝, ビヴァリーヒルズH-G1, 同3着, プシュケ賞-G3,
ARLINGTON BREEDERS' CUP H-L, FIRTH OF CLYDE S-L, モデスティS-G32着, ス
コティッシュクラシック-G32着, プリガディアジェラルドS-G33着。産駒
カビストラノデイ Capistrano Day(Diesis)英・仏2勝, P.DE SAINT-CYR-L, フレッ
ドダーリングS-G33着, SCEPTRE S-L3着。産駒
サビー Sabbeeh: 英3勝, シュプリムS-G32着
ドリームデイ Dream Day: 英1勝, フレドダーリングS-G32着
ボンジョルノ Bongiorno: 愛1勝, VINTAGE TIPPLE S-L3着, BLUEBELL S-L3着
カシール Kathir: 英・北米・UAE・バルバドス9勝, オーシャンポートH-G32着, CONIFER-
GENERAL-BUFFETT TURF S-L2着
ブリングプレんティ Bring Plenty: 英1勝, SWEET SOLERA S-L2着, STAR S-L3着
ローンチーフ Lone Chief: 英1勝
- 四代母 カニス Kanizは愛1勝。産駒
ヒールグロウ He'll Grow: ノルウェー10勝
カジェフカ Kadievka: 伊11勝

Danon the Kid

BIG RED FARM
STALLIONS 2026



G1 ホープフルS (中山芝 2000m)

ダノンザキッドは6月の新馬でデビュー。のちのG2青葉賞馬ワンダフルタウンにはば馬なりのまま3馬身差をつけて楽勝すると、続くG3東京スポーツ杯2歳Sでは馬体重プラス24kgと成長力を見せてこれも快勝し、2戦2勝でG1ホープフルSへと駒を進めることとなった。そのG1ホープフルSは好位追走から直線で危なげなく抜け出して快勝。

3歳春は剥離骨折が判明し、無念の日本ダービー回避となるも、秋には戦線復帰。マイル路線に狙いを定め、G3富士Sをステップに臨んだG1マイルCSはこの年のJRA賞最優秀短距離馬グランアレグリアの3着。勝利には届かなかったものの、3歳馬ながら最強マイラーを相手に0.2秒差の接戦を演じている。翌年もG2毎日王冠をステップにG1マイルCSに挑み、この年のJRA賞最優秀短距離馬セリフォスの2着。さらにG1香港Cにも出走し、ロマンチックウォリアーの2着と海外でも最強馬を相手に好走を見せるなど、トップレベルの活躍を続け、5歳では大阪杯を3着に好走。ホープフルS以降、最高峰のレースに出走し続けたこともあって勝ち星には恵まれなかったものの、国内外の1600m、2000mのG1で5度の3着以内好走を記録し、距離、コース、馬場に対する融通性の高さ、そして2歳から6歳までG1戦線で活躍する成長力と馬体の頑強さを見事に証明した競走生活だった。



G3 東京スポーツ杯2歳S (東京芝 1800m)



2歳新馬 (阪神芝 1800m)

ダノンザキッド全成績					
年	レース名	コース	着	タイム	1着馬(2着馬)
2020年	新馬	阪神芝1800	1着	1:48.3	(ワンダフルタウン)
	東京スポーツ杯2歳S(G3)	東京芝1800	1着	1:47.5	(タイトルホルダー)
	ホープフルS(G1)	中山芝2000	1着	2:02.8	(オーソクレス)
2021年	弥生賞ディープインパクト記念(G2)	中山芝2000	3着	2:02.3	タイトルホルダー
	皐月賞(G1)	中山芝2000	15着	2:03.1	エフフォーリア
	富士S(G3)	東京芝1600	4着	1:33.7	ソングライン
	マイルチャンピオンシップ(G1)	阪神芝1600	3着	1:32.8	グランアレグリア
	中山記念(G2)	中山芝1800	7着	1:47.8	バンサラッサ
2022年	安田記念(G1)	東京芝1600	6着	1:32.5	ソングライン
	関屋記念(G3)	新潟芝1600	3着	1:33.4	ウインカーネリアン
	毎日王冠(G2)	東京芝1800	3着	1:44.3	サリオス
	マイルチャンピオンシップ(G1)	阪神芝1600	2着	1:32.7	セリフォス
	香港カップ(G1)	シャティン芝2000	2着	2:00.4	ロマンチックウォリアー
	中山記念(G2)	中山芝1800	11着	1:48.2	ヒシグアス
	大阪杯(G1)	阪神芝2000	3着	1:57.4	ジャックドル
2023年	クイーンエリザベス2世C(G1)	シャティン芝2000	5着	2:02.7	ロマンチックウォリアー
	宝塚記念(G1)	阪神芝2200	13着	2:12.6	イクイノックス
	マイルチャンピオンシップ(G1)	京都芝1600	5着	1:32.8	ナミュール
	香港マイル(G1)	シャティン芝1600	12着	1:35.4	ゴールデンシックスティ

IMPRESSION OF DANON THE KID

2024年に種牡馬としてデビューし、今年で3年目。

種牡馬デビュー当初から種付けに関して心配するようなどころは一切なく、供用2年目となった昨年には恵まれた馬体がさらに種牡馬としての身体つきに変化。

より充実した中で65頭の繁殖牝馬を迎え入れることができました。

年々、繁殖牝馬の質も上がっており、昨年はG3函館2歳S勝ち馬のストークアンドレイ、G1オークス馬ダイワエルシエーロの半妹レッドステラーノ、仏G3ベネローブ賞勝ち馬ダリオール、南関東の重賞競走東京シンデレラマイル連覇のダノンレジーナを筆頭に、質の高い繁殖牝馬に種付けいただきました。今年も産まれてくる産駒が楽しみです。

昨春誕生した初年度産駒はダノンザキッド同様、馬格のある産駒が多く、気性的にも肝の据わった仔が多い印象です。ダノンザキッド自身がハーツクライ系のジャスタウェイ産駒というスピード寄りのタイプだったこともあり、産駒の馬体からも1600~2000mあたりに距離適性を感じられます。

牡馬は総じて体格が立派でハワフル。ダートに適性を感じる仔も出ています。

牝馬は中肉中背で俊敏性を感じており、切れ味を武器に早い時期から活躍してくれるのではないのでしょうか。

父は2歳G1を制し、その後もG1競走で堅実な走り続けました。

産駒には、その能力と資質を受け継ぎ、より幅広い舞台での活躍を期待しています。

ベンバトル Benbatl

2014年生 英国産 鹿毛

昨年デビューの初年度産駒はJRAで10頭が勝ち上がる
世界各国でG13勝、ドバイターフで日本の実績馬を一蹴の“ドバウイ系”



競走成績 Race Record

2017~2021年
25戦11勝
総獲得賞金 GBP362,146 EUR100,000
AUS\$1,352,750 \$6,305,000

- 優勝 ドバイターフ-G1(芝1800m)
Dubai Turf-G1 (Turf)
- 優勝 MRCコーフィールドS-G1(芝2000m)
Caulfield S-G1 (Turf)
- 優勝 ダルマイヤー大賞典-G1(芝2000m)
Grosser Dallmayr-Preis-G1 (Turf)
- 優勝 ジョエルS-G2(芝8f)2回
Joel S-G2 (Turf)
- 優勝 マクトゥームチャレンジラウンド2-G2(D1900m)
Al Maktoum Challenge Round 2-G2 (Dirt)
- 優勝 アルラシディヤ-G2(芝1800m)
Al Rashidiya-G2 (Turf)
- 優勝 シングスピールS-G2(芝1800m)
Singspiel S-G2 (Turf)
- 優勝 ハンプトンコートS-G3(芝9f212y)
Hampton Court S-G3 (Turf)
- 優勝 シングスピールS-G3(芝1800m)
Singspiel S-G3 (Turf)
- 2着 コックスプレート-G1(AUS/芝2040m)
- 2着 ジェベルハッタ-G1(UAE/芝1800m)
- 2着 サウジカップ(D1800m)



© Racingfotos/TIS

父ドバウイはナイトオブサンダー、ポストボンドなど数々の名馬を輩出。孫世代からもG1ウイナーが誕生しており、今や欧州トップサイアーの地位を確立した大種牡馬。その豪華な産駒たちのなかにおいて、ベンバトルはG1レース3勝を含め、芝・ダートで重賞10勝を挙げた後継種牡馬の筆頭格。ドバイターフではヴィブロス、リアルスティールらを3馬身半以上置き去りにし、日本のトップホースたちをスピードで圧倒している。現役時代は1600~2000m戦を中心に走っており、日本と同様のスピード馬場での実績、ダート実績も申し分なし。種牡馬としてのポテンシャルを大いに感じさせる。

血統表 Pedigree Table

父系 | Sire Line

父:ドバウイ Dubawi は英国産。愛2000ギニー-G1, ジャックルマロワ賞-G1, 愛ナショナルS-G1など8戦5勝。英愛チャンピオンサイアー、仏総合・2歳チャンピオンサイアー。2015、2018、2021、2022年欧州繋養種牡馬の世界獲得賞金ランキング1位。<代表産駒> ガイヤース(2020世界ランキング1位, 全欧年度代表馬, 全欧古馬チャンピオン, コロネーションC-G1, エクリプスS-G1, インタナショナルS-G1, パーデン大賞典-G1), ポストボンド(コロネーションC-G1, キングジョージ六世&クイーンエリザベスS-G1, インタナショナルS-G1, ドバイシーマクラシック-G1), ニューベイ(仏ダービー-G1), ナイトオブサンダー(英2000ギニー-G1, ロッキンジS-G1), *マクフィ(英2000ギニー-G1, ジャックルマロワ賞-G1), アルカジーム(エクリプスS-G1, プリンソブウェールズS-G1, タタソールズゴールドC-G1・2回)など活躍馬多数。

ドバウイ Dubawi 鹿毛 2002	ドバイミレニアム Dubai Millennium	Seeking the Gold	Mr. Prospector	Raise a Native Gold Digger Buckpasser	
	ゾマラダー Zomaradah	Colorado Dancer	Shareef Dancer	Broadway Northern Dancer Sweet Alliance Pretense Change Water Mill Reef	
		Deploy	Shirley Heights	Roberto	
		Jawaher	Slightly Dangerous	Where You Lead Lyphard	
ナーレイン Nahrain 栗毛 2008	セルカーク Selkirk	Sharpen Up	*エタン	Navajo Princess High Line Sunbitten Native Dancer Mixed Marriage Rockefella Chambiges	
		Annie Edge	Rocchetta	*イエローゴッド	
	パール Bahr	*ジェネラス	Nebbiolo	Novara	Be Friendly No Court Nijinsky Foreseer
		Lady of the Sea	Friendly Court	Caerleon	Master Derby Margarethen Never Bend Milan Mill Copenhagen La Balsa

種牡馬成績 Stud Record

種牡馬成績 Stud Record

2022年より我国で供用開始
(主な産駒)
コロナドリッジ(中央・2勝, エリカ賞)
ベレーバスク(ファンタジーS-G35着)
スタニングレディ(中央・1勝)
トリアンフバス(中央・1勝)
フェーダーローター(中央・1勝)
プリガンティン(中央・1勝)
ファムクラージュズ(中央・1勝)
ミスターライト(中央・1勝)
メイクワンズデイ(中央・1勝)
ラージアンサンプル(中央・1勝)
グランドフロイデ(南関東・2勝)
フィールドアピール(北海道・2勝)
ペラジオスパーク(東海・2勝)

母系 Family

- 母 **ナーレイン** Nahrain は英国3歳牝馬チャンピオン, 英3勝, Distaff S-L, 仏1勝, オペラ賞-G1, 愛入着, ブランドフォードS-G23着, 北米1勝, フラワーボウル招待S-G1, BCフィリー&メアターフ-G12着。産駒
ベンバトル Benbatl: 本馬
エルマルカ Elmalka(21 牝 Kingman) 英2勝, 英1000ギニー-G1, ガリアS-G22着, フレックドダーリングS-G33着
フーラート Fooraat(17 牝 Dubawi) 英2勝, Snowdrop Fillies S-L2着, Rosemary S-L3着, Lyric Fillies S-L3着, 仏入着, リウレイ賞-G34着
- 祖母 **パール** Bahr は英4勝, リブルズデルS-G2, ミュージドラS-G3, Washington Singer S-L, 英オークス-G12着, 愛オークス-G13着, フラワーボウル招待H-G13着。産駒
バーラー Baharah(牝 Elusive Quality) 英5勝, Valiant S-L, Fleur de Lys Fillies S-L
インドバイ In Dubai(牝 Giant's Causeway) 英1勝。産駒
ゴベアスゴ Go Bears Go: 英愛4勝, レイルウェイS-G2, フィーニクスプリントS-G3, パヴァリオンS-G3, ノーフォークS-G22着, BCジュヴェナイルターフスプリント-G22着, フィーニクスS-G13着
ドラティ Dorrati(牝 Dubai Millennium) 不出走。産駒
ドラール Dorraar: 英1勝。ファアバヴ Far Above(パレスハウスS-G3)の母
- 曾祖母 **レイディオザシー** Lady of the Sea は英1勝。産駒
クレリオ Clerio: 愛5勝, メイトロンS-G3, Prix Caravelle Haras des Granges-L。産駒
アラマー Alamer: NZ4勝, ARC Trevor Eagle Memorial S-L
クレリヒュー Clerihew: 不出走。産駒
アワロッキイ Our Rökkii: 豪7勝, MRCトゥーラクH-G1, ATCカーバインクラブS-G3, ATCフランクパッカープレート-G3
アワクリード Our Creed: NZ1勝, WRCレヴィンクラシック-G14着
グリーンバームツリー Green Palm Tree: 英豪5勝
- 四代母 **ラメール** La Mer はNZ年度代表馬, NZ2歳牝馬チャンピオン, NZ3歳牝馬チャンピオン, NZ古馬チャンピオン, 豪・NZ24勝, WRCNZ オークス, ARCエアニュージーランドS-G1, ManawatuサイアーズプロデュースS, ManawatuアワブニゴールドC-G2, ARCロイヤルS

Benbatl' s First Crop Highlight

BIG RED FARM
STALLIONS 2026



2025年に初年度産駒がデビューし、2026年1月5日の時点で中央11勝、地方6勝を挙げ、ファーストシーズンサイアーランキングでは総合5位、中央に限ると3位と上位にランクされています。
また、ランキングに関してさらに見ていくと、中央における出走回数5位、出走頭数5位に対して、勝利回数2位、勝利頭数2位と高くなっており、勝ち上がり率の高さも印象的です。

中央での勝ち鞍は新馬の2勝を含め、すべて芝でのもの。1400mから2000mと幅広い距離カテゴリーで勝利を挙げており、コロナドリッジはエリカ賞を快勝。スタニングレディは阪神JF-G1へ出走しました。本年のクラシック路線での活躍にまた一歩近づいています。
また、11勝中9勝でメンバー中3位以内の上がりマークしているのも特長で、瞬発力が要求されるレースでも、持続力が要求されるレースでも安定して脚を使っています。これは現代競馬で活躍するために必須とも言える資質で、だからこそ負けたレースでも大崩れせずに入着する産駒が多いのでしょう。

これら幅広い距離カテゴリーでの安定した末脚、好走はさすが世界のドバウイ系と言えるもので、父ドバウイからは、本馬ベンバトル(ドバイターフ-G1、MRCコーフィールドS-G1等。前ページ参照)をはじめ、ガイヤース(2020全欧年度代表馬、コロネーションC-G1等)、ポストポンド(インターナショナルS-G1、ドバイシーマクラシック-G1等)、マクフィ(英2000ギニー-G1、ジャックルマロウ賞-G1)、ラッキーナイン(香港スプリント-G1、香港マイル-G1)ら、スプリント戦からクラシックディスタンスまでG1ウイナーが輩出されていることを考えても、ベンバトル産駒の活躍は当然と言っていいかもしれません。

なお、現時点で中央のダートでは未勝利ですが、出走数は芝の4分の1以下。これは若駒のうちからスピードを見せているからこそ芝をデビュー戦に選ぶ陣営が多く、それによる出走数の差とも言えます。本馬がサウジCで2着となっていることから、今後はダートでの大物産駒も期待できるでしょう。実際、中央ダートでも上位に来ている産駒が複数おり、地方ではすでに特別戦で3勝を挙げています。

ベンバトル自身は3歳でのデビューでしたが、産駒は2歳の早い段階から結果を残している点も強調すべきで、早くも大舞台を意識させる馬も複数。今後の活躍にご注目下さい。



コロナドリッジ 母ローズマンブリッジ (by ディープインパクト)

スタニングレディ 母フォクシーレディ (by ディープインパクト)



ベレーバスク 母マイネサヴァラン (by マンハッタンカフェ)



フェーダーローター 母リーフフラウミルヒ (by ステイゴールド)



ブリガンティン 母コスモビキシス (by ステイゴールド)



ファムクラジュース 母キューンハイト (by ディープインパクト)



メイクワンズデイ 母スリーアロー (by アルデランII)



トライアンフパス 母エントリーチケット (by マツリダゴッホ)



ラージアンサンプル 母ナスノフォルテ (by ジャスタウェイ)



ミスターライト 母アドニータ (by シングスピール)